

A Japan Ceramics Network joint exhibition

# What is Pottery?

Great works from 8 ceramics museums tell their story

# 何やきものって ダ？

陶磁ネットワーク会議共同企画展



有田(柿右衛門様式)  
色絵花鳥文六角壺(1対)  
江戸時代前期(17世紀後半) 33.2×19.2 cm 佐賀県立九州陶磁文化館



富本憲吉  
色絵金銀彩四弁花模様蓋付飾壺  
1956年 18.8×23.7 cm 兵庫陶芸美術館



克川豊蔵  
志野永指  
1938-41年 17.0×22.0 cm 岐阜県現代陶芸美術館



加藤土師南  
吹墨色絵水禽文大皿  
1963年 8.0×48.0 cm 愛知県陶磁美術館



陶芸美術館 8 館の名品に学ぶ

リチャード・ショー  
ベースボール・ヘッド  
1998年 82.0×25.0 cm 滋賀県立陶芸の森 陶芸館



高橋春斎  
信楽しのぎ大壺  
1993年 42.0×36.0 cm 滋賀県立陶芸の森 陶芸館



越前  
三筋文壺  
平安時代末期(12世紀) 29.5×18.8 cm 福井県陶芸館



三輪壽雪(十一代休雪)  
鬼萩窯変割高台茶碗  
2006年 11.2×16.2 cm 山口県立萩美術館・浦上記念館

平成26年  
2014

7月5日土 ▶ 8月24日日

休館日●月曜日(ただし、7月21日は開館。)開館時間●9:00～17:00(入場は16:30まで)  
観覧料金●一般 800(600)円、70歳以上の方・学生 600(450)円  
( )内は前売りおよび20名以上の団体料金です。なお、18歳以下の方、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学する生徒は無料です。※前売り券はローソンチケット(Lコード62990)、セブンチケット(セブンコード031-494)および県内各プレイガイドでお求め下さい。

主催●やきものって何ぞ哉実行委員会(山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、yab山口朝日放送)  
企画協力●陶磁ネットワーク会議(愛知県陶磁美術館、茨城県陶芸美術館、岐阜県現代陶芸美術館、佐賀県立九州陶磁文化館、滋賀県立陶芸の森、兵庫陶芸美術館、福井県陶芸館、山口県立萩美術館・浦上記念館)  
後援●山口県教育委員会、萩市  
特別協力●エフエム山口



板谷波山  
彩磁ハッ手集文鉢  
大正時代初期(20世紀) 11.0×29.5 cm 茨城県陶芸美術館

山口県立萩美術館・浦上記念館  
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古586-1 TEL 0838-24-2400  
URL <http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>



# 何だ？ やきもの

縄文土器、茶の湯の器から、  
所謂人間国宝の作品、  
オブジェ作品まで。

日本にはやきものの産地が数多くあり、それぞれに特徴のあるやきもの作りが行われ、食のための器だけでなく茶の湯、華道など日本を代表する伝統文化の形成にも大きな役割をはたしてきました。また現代では、器という枠を超えて、やきものによる新たな造形表現が生まれています。

そこで今回、やきものの産地に所在し、やきものを専門的に收藏し展示・公開する美術館・博物館8館により構成される「陶磁ネットワーク会議」の共同企画展「やきものって何だ？」を開催いたします。

本展では、やきものがどのように作られたのか、どのように使われたのか、やきもので何を表現したのかなどこのテーマについて、8館の名品を組み合わせでご覧いただけます。また、各館自慢の逸品と共に、それぞれの産地の歴史的背景や各館のコレクションの特徴をご紹介します。

この展覧会を通じて、日本各地のやきもの美術館を旅した気分になりつつ、やきものの魅力を堪能いただき、やきものに対するみなさんのなげ？なに？に少しでもお答えできれば幸いです。

## 関連企画

- ◆記念講演会**  
日時▶7月19日[土] 13:30~15:00  
場所▶山口県立萩美術館・浦上記念館 講座室  
講師▶梶山博史氏(兵庫陶芸美術館 学芸員)  
演題▶「喫茶を楽しむー抹茶と煎茶のやきものー」
- ◆萩茶碗で愉しむ呈茶席(表千家萩地区青年部)**  
日時▶7月5日[土]、6日[日] 10:00~15:00  
場所▶山口県立萩美術館・浦上記念館 本館スロープ下一服▶300円(茶菓付き)
- ◆ギャラリーツアー**  
(学芸員による作品解説。観覧料が必要)  
日時▶毎週日曜日 11:00~12:00  
場所▶山口県立萩美術館・浦上記念館 本館2階展示室
- ◆同時開催**
  - 浮世絵展示  
美人画の大首絵▶7月5日[土]~8月3日[日]  
妖怪絵▶8月5日[火]~9月7日[日]
  - 東洋陶磁展示  
かたどられた人、動物、生活▶~10月5日[日]
  - 陶芸展示  
卑弥呼と愛 十二代三輪休雪の世界  
▶7月5日[土]~2015年1月25日[日]  
萩焼の花器▶~9月7日[日]

## 陶芸ウィークイベント

- ①萩焼素材による制作体験：マール加飾体験**  
墨流し技法をもちいて不思議な装飾をたのしみませ。  
講師▶金子 司氏(陶芸家)  
日時▶8月2日[土]  
午前の部 10:00~12:00  
午後の部 14:00~16:00  
場所▶山口県立萩美術館・浦上記念館 陶芸館多目的室  
参加料▶1,000円(材料代)
  - ②絵付け体験**  
磁器の器の上に自由に筆を走らせて、自分だけの絵画を作ってみます。萩焼では通常行わない技法なので、ぜひこの機会に体験を！  
講師▶金子 信彦氏(陶芸家)  
日時▶8月3日[日]  
午前の部 10:00~12:00  
午後の部 14:00~16:00  
場所▶城山窯(萩市内)  
参加料▶1,000円(材料代)
- 制作体験の募集と応募先**  
募集▶各回20名(小・中学生対象)  
※1回のみ参加も可能  
応募▶Faxで、参加者全員の氏名と学年(年齢)、住所、電話番号(昼間に連絡が可能な番号)、参加希望の体験項目と時間帯を明記の上、お申し込みください。申込先着順。定員になり次第締め切ります。

## 交通のご案内



- 新幹線  
[上り]博多→小倉→新山口/[下り]新大阪→広島→新山口
- 山陽本線  
[上り]下関→新山口/[下り]岩国→柳井港→徳山→新山口
- バス  
新山口駅から、防長交通「特急はぎ号」約70分/中国JRバス「特急はぎ号(湯田温泉・山口駅経由)」約90分 とともに萩バスセンター下車、徒歩12分
- 山陰線  
[上り]下関→長門市→東萩/[下り]松江→益田→東萩  
東萩駅から、タクシー7分/萩循環まあるバス30分/徒歩30分
- 航空機  
[羽田→山口宇部]山口宇部空港から、萩近鉄タクシー「乗合タクシー」90分(利用前日まで要予約、電話 0838-22-0924) / [羽田→萩・石見]萩・石見空港から、バス75分(萩バスセンター下車、徒歩12分)
- 車  
中国自動車道 美祿東JCT経由、小郡萩道路 給堂ICから20分

## ③タッチ&トーク

当館が所蔵する作品を中心に、普段は展示ケース越しにしか鑑賞できない作品を、実際に作品に触れながら、その質感や特徴を体験できます！  
日時▶8月5日[火]~8月8日[金] 各日14:00~15:00  
場所▶山口県立萩美術館・浦上記念館 本館講座室  
参加料▶特別展示「やきものって何だ？」の観覧チケットを提示。  
募集▶定員20名(開催日に申込先着順。定員になり次第締め切ります)

## ④萩焼名窯ツアー

萩藩の藩窯として知られる名窯の坂窯と不走庵三輪窯を見学します。坂窯では茶碗と型物香合の制作、また不走庵三輪窯では割り貫き技法による花入を、それぞれ見学する予定です。美術館と窯元は、マイクロバスで移動します。  
日時▶8月9日[土]:坂窯、8月10日[日]:不走庵三輪窯  
各回10:00~12:00  
募集▶15名程度(小中学生および保護者)※1日のみの参加も可能  
応募▶Faxで、参加者全員の氏名と学年(年齢)、住所、電話番号(昼間に連絡が可能な番号)、参加希望日を明記の上、お申し込みください。申込先着順。定員になり次第締め切ります。  
参加料▶無料

## ⑤ギャラリートーク

東洋陶磁展示「かたどられた人、動物、生活」の作品解説  
日時▶8月9日[土]11:00~12:00  
場所▶山口県立萩美術館・浦上記念館 本館1階展示室  
募集▶随時(開催日当日に本館1階展示室入口に集合)



十三代今泉石南門  
色絵吹重ね草花文鉢  
1908年 13.0×44.8 cm  
佐賀県立九州陶磁文化館(十三代今泉石南門氏贈)



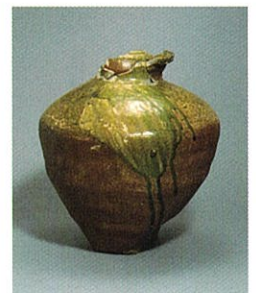
仁阿弥道八(讃磨)  
色絵雲錦手盛物  
天保3-4年(1832-33) 13.8×27.7 cm  
愛知県陶磁美術館



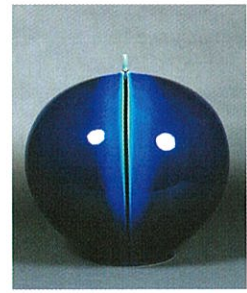
中国・章義窯  
藍三彩宝相華文三足盤  
唐時代(8世紀) 6.3×29.2 cm  
山口県立萩美術館・浦上記念館



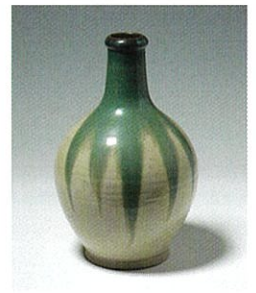
八木一夫  
瓦  
1971年 14.5×23.0 cm  
岐阜県現代陶芸美術館



越前 森  
鎌倉時代前期(13世紀) 42.5×38.5 cm  
福井県陶芸館



三代徳田八十吉  
深厚釉彩織文壺  
2003年 46.0×46.0 cm  
兵庫陶芸美術館



室間  
靱白釉青流掛徳利  
明治時代(19-20世紀) 33.0×21.0 cm  
茨城県陶芸美術館